

# 事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策Ⅱ-2-2 地域福祉の推進
---------	-----------------

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	健康福祉総務課長 嶋田 慎司	電話番号	0852-22-5326
----------	----------------	------	--------------

事務事業の名称	総合福祉センター維持管理運営事業		
目的	(1) 対象	福祉活動をする人	
	(2) 意図	福祉活動の場が確保される	
事業概要	福祉社会の向上・実現のために、福祉活動をする人に対して、福祉活動の場を提供する		

## 2. 成果参考指標

(1) 指標名	施設利用率	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
		目標値			41.50	43.00	44.50	
式・定義	利用件数/利用可能件数	実績値	40.30	42.90	44.70	44.50		%
		達成率		103.40	104.00	100.00		%
指標名		年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
		目標値		0.00	0.00			
式・定義		実績値	0.00	0.00	0.00			
		達成率		0.00	0.00			%

## 3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	181,029	169,386
うち一般財源(千円)	161,392	152,144

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

## 5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

・東部総合福祉センター（いきいきプラザ島根）は、開館から20年、西部総合福祉センター（いわみーる）は開館から15年が経過し、両施設ともに施設・設備の老朽化が見られる。  
 ・平成26年度の両施設の利用状況は、いきいきプラザ島根は延べ利用者数（貸出施設）が181,724人で、利用率は50.8%、いわみーるは延べ利用者数（貸出施設）が63,938人で、利用率は37.0%ある。  
 ・平成26年度にいきいきプラザ島根に松江保健所が移転したことから当該施設への来館者は更に増加する見込みである。

## 6. 成果があったこと（改善されたこと）

（いきいきプラザ島根）  
 ・施設の外壁（経年劣化による影響が大きい箇所）の改修（H27も継続）を行い、安全性を高めるほか、施設の利便性を考慮し、必要な修繕等を行った。  
 ・松江保健所移転等もあり利用者増が見込まれることから、利用頻度の低いゲートボール場を駐車場として整備した。

（いわみーる）  
 ・利用者の要望に応え、施設内の環境整備（一部のWi-Fi環境、映像設備整備）を行うとともに、駐車場の確保するため利用頻度が低い多目的広場を利用者駐車場として整備することにより施設の利便性を高めた。

## 7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」  
 ・両施設の施設・設備ともに、老朽化による修繕等（会議室の新規整備も含め）の必要な箇所がある。  
 ・施設利用率が近年横ばい状況で伸びていない状況（特にいわみーる）である。

②困っている状況が発生している「原因」  
 ・いきいきプラザ島根は開館から20年、いわみーるは開館から15年が経過しており、いずれも経年劣化によるもの。  
 ・利用者のニーズを十分に把握できていない（会議室の数、広さ、設備等）。  
 ・特定の団体等のリピーターは多いが、利用者の新規開拓ができていない。

③原因を解消するための「課題」  
 ・施設の改修等に関しては管財課とも連携を取りながら、計画的に対応していく必要がある。  
 ・利用者の要望等を把握しつつ、施設をより積極的にPRしていく必要がある。

## 8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

・福祉活動の拠点施設として、管財課とも連携をとりながら、すぐに対応しなければならない箇所と計画的に施設改修を行っていく箇所を整理した上で、利用者にとって不便にならないよう対応していく必要がある。  
 ・施設利用率の更なる向上に向け、まずは施設に足を運んでもらうために1Fフロア等で様々な展示等を行ったり、ホームページ等からの情報提供により当該施設の認知度を高めていく必要がある。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

## 9. 追加評価（任意記載）